☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆編　集　後　記★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

＊　『組織は人、人が蠢いて物事成就！』　“秋高連 25 年の歩み”をどのような形で残すべきかを考えた時、まずは、秋高連の発足以来その運営に携わって来られた先輩諸兄姉の名前をしっかりと把握し、そしてその時代背景を詳らかにしつつ秋高連が実施して来た事業を分かり易く伝えることだ と考えました。

＊　資料整理編纂ではデータのやりとりが郵便や FAX、電話ではとても出来ないことを予測し、編集委員はパソコンメールが出来る事を必須条件に県北、県央、県南からそれぞれ３名を指名しました。結果は予測どおり、膨大な資料のやり取り、チェック、作成状況の掌握が極めてスムーズに進捗しました。

＊　今回の資料整理編纂作業は、頗る地道で且つ細部に亘るものが多く、気配りと注意力を求められる作業が大部分でした。各委員は各校同窓会の代表者でありますが、個々の思いは胸にしまい込みながら“秋高連２５年の歩み”を総括し、残せるものは出来るだけ残そうという意識のもと、積極的に細かい作業を進めてくれたことに心から感謝したいと思います。特に御高齢かつ体調を崩された高橋委員には膨大・詳細に渡る打ち込み作業をして頂き、心から感謝の意を表したい。

＊　各人の得意を活かし、不得意分野を他の人がカバー出来るよう責任分担を明確にしましたが、いざ作業を進める段になって様々な苦労に直面したのも事実です。『魁新聞記事』では、日時とタイトルは魁新聞東京支社よりご提供を頂きましたが、実際の資料は国会図書館の「マイクロフィッシュ検索」が必要で、山田委員がまる二日間通い詰めてようやく完成したものです。

＊　資料の提供を「全体総会(２１年度)冊子」やメールで全運営委員にお願いしました所、秋田商業の和田さん、能代工業の宮腰さん、大館鳳鳴の武藤さん、角館南の能見さんから大変貴重な資料を提供頂きました。お陰様でそれらの資料は確実に編纂に反映させることが出来ました。積極的に資料を提供して下さった皆様に衷心より感謝申し上げます。

＊　設立までの経緯を調査中に、望月委員が佐々木富也第３代会長（湯沢高校）のご自宅へ伺い、古い資料のご提供を頂くと共に秋高連創設前/後の貴重なお話を縷々伺う事が出来たとの報告がありました。お陰を持ちまして初期の資料が整備され大変嬉しく思いますと共に、佐々木元会長が未だに秋高連の現在と行く末を“熱い気持ち”で見守り下さっておられることに、委員一同深い感銘を覚えた次第です。

＊　今回は、デジタル化時代を反映して写真の取り込みを積極的に行いました。写真撮影は能代工業の藤田幹夫さん（県北）、秋田南の大森素弘さん（県央）、横手工業の相馬基さん（県南）、そして私が全くのボランティアで実施し、トリミング、編集、アルバム加工は素人の趣味範囲で私が実施しました。拙なる所は何卒ご容赦のほどをお願い致します。

＊　今後は、機会を捉えて記録を残して行くことが、秋高連の運営上大変重要な活動の一つになると思います。時代を反映し記録は紙からデジタルへ、写真から動画へと移り行くと思われますが、その際、何をどのように残して行くべきか、その作業を誰がするのか等の手順を予め決めておく事が極めて肝要かと思います。

資料･記録等編纂整理小委員会
委 員 長　　榎　利 美
（秋高連副会長/秋田南高校同窓会東京南翔会会長）